

◆ 使用材料の種類と物性値 ◆

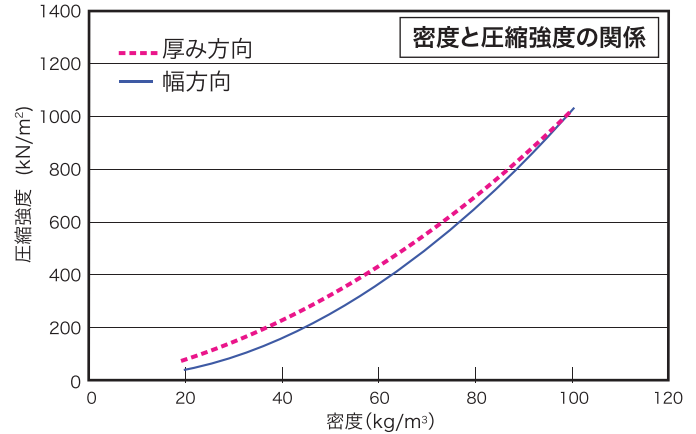
アップコンでは、お客様に、現場の状況や目的に合わせた、硬質発泡ウレタン樹脂の材料を使用しています。

◎ 一般用の樹脂 (※ 店舗・倉庫・工場・住宅・学校などの沈下修正 (空隙充填) 工事に使用)

物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	62.0	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	363	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	771	JIS K 7221-2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※オーバーバック率 10%



◎ 空隙充填用の樹脂

(※ 空隙量が大きい現場に提案)

物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	25.5	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	51.9	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	120.5	JIS K 7221-2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※オーバーバック率 0%

◎ 高強度用の樹脂

(※ 道路・踏み掛け版・空港などの公共工事で使用)

物性値

特性項目	単位	物性値	試験方法適用規格
密度	Kg/m ³	185.0	JIS K 7222 :2005
圧縮強さ	kPa	1400	JIS K 7220 :2006
曲げ強さ	kPa	900	JIS K 7221-2 :2006

※物性値は標準値であり、保証値ではありません。
※フリー発泡

※日本パフテム株式会社 品質証明書より

フロンガス定量分析試験結果

試験項目	「アップコン」 検出濃度(μg/g)		
	N=1	N=2	平均値
HCFC-141b ※1	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-245fa ※2	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-365mfc ※3	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)
HFC-134a ※4	不検出(1以下)	不検出(1以下)	不検出(1以下)

※1 HCFC-141b : 1,1-ジクロロ-1-フルオロエタン ※3 HFC-365mfc: 1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン
※2 HFC-245fa : 1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン ※4 HFC-134a : 1,1,1,2-テトラフルオロエタン

土壌の影響確認 (濃度計量試験結果)

検定項目	検出値	検定項目	検出値
トリクロロエチレン	不検出	1,1,1-トリクロロエタン	不検出
テトラクロロエチレン	不検出	1,1,2-トリクロロエタン	不検出
ジクロロメタン	不検出	1,3-ジクロロプロペン	不検出
1,2-ジクロロエタン	不検出	ベンゼン	不検出
1,1-ジクロロエチレン	不検出	四塩化炭素	不検出
シス-1,2-ジクロロエチレン	不検出		

※不検出とは、定量下限値未満のことを示す。
※H15 環境省告示第 18 号による測定。

- 試験方法 : JIS K 0125 5.2
- 試験機関 : 株式会社ニテコ・テクノ

耐薬品性

薬品名	24時間浸漬後の状態	
有機酸	10% クエン酸	変化なし
	10% 酢酸	変化なし
	10% 乳酸	変化なし
塩基物	10% 水酸化アンモニウム	変化なし
	10% 水酸化カリウム	変化なし
	10% 水酸化ナトリウム	変化なし
酸化剤	1% 二酸化塩素	着色
	10% 過酸化水素	着色
	5% 次亜塩素酸ナトリウム	着色 吸収大
酸	10% 塩酸	変化なし
	10% 硫酸	変化なし
	10% シュウ酸	変化なし
	10% 硝酸	着色
エーテル・ケトン	エチルエーテル	変化なし
	グリセリン	変化なし
芳香族炭化水素	ブレーキオイル	変化なし
	灯油	変化なし
その他	水	変化なし
	蒸留水	変化なし
	海水	変化なし

確認方法: 500mlビーカーに薬品300gを入れ、フォームサンプル 50x50x40を薬品中に浸漬し、常温で24時間後の状態を確認する。

